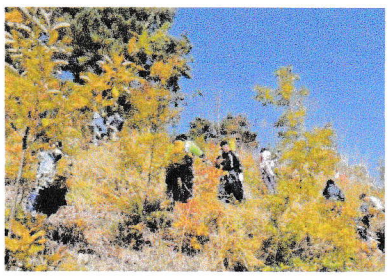
漁師の皆さんと白川の森へ

今年もいっしょに連れて行っていただきました。磯津漁協のメンバーの中に入れていただいて岐阜県白川町で催された「第16回森・川・海～清流がつなぐ未来の森造成運動」に去年に続いて参加しました。今回の参加者は全体で240名。漁協や関係団体、企業、ボランティア、小学生をカウントして。（ｐ４資料参照）

磯津漁協からは私を入れていただいて６人。Ｙさんが大きな病気をされて欠席。朝7:00定刻通りバスは出発しました。皆さんすぐに普段のような漁の会話に花が咲きます。私は耳をそばだてながらその会話を楽しんで聞かせてもらっています。それだけでこのバス旅行に参加させていただく半分の意義はあるのです。途中、富洲原で２人、赤須賀で３０数人が乗られてバスはいっぱいになりました。赤須賀は若い人も女性も多い。

9:00内津峠、雲一つない秋空。Ｍさん「もっと呼びかけたら（磯津も）もっと参加するやろな」とポツリ。そして東海北陸道を経由して国道４１号線を抜けて美濃路をさかのぼります。飛騨木曽川国定公園、八百津町に入るとボチボチ紅葉しています。

クオーレの里に着いたのは10:05でした。それからまだバスで観光道路を急登してそこは下界から随分と上がった笹平（ささだいら）高原、10:20全く時間通りの到着でした。磯津から３時間２０分。



早速、開会式をして、さあ、山に入ります。見覚えのある山道を20分ほど登ると去年植えた覚えのある山肌。今年はススキや下草を刈るのが私たちの仕事。急斜面での切り倒し作業でしっかり汗をかきました。（右、写真）でも、もう終い？と言うくらい短く感じた時間でした。

昼食は、クオーレの里という東濃白川のアウトドアリゾートまで降りて芝生に丸く座って、よく出汁の利いた豚汁と弁当に舌鼓を打ちました。小学生たちはドングリにペンで顔を描いたり枝をあしらってかわいいクラフトを作っていました。（下、写真）帰路は、白川町の道の駅で散財して（これも大事な貢献？）

おいしい白川茶のソフトクリームや栗のきんつば、ぎゅっぎゅうに詰めた白川茶といっぱいのお土産でした。

帰りも長いバス時間でしたが、揖斐長良に着いた頃にはきれいな満月に近い月が上がっていました。のんびりしたいい１日でした。